



# 多摩辺

学 校 だ よ り  
昭島市立多摩辺中学校  
校 長 堀 田 典 子  
令和 7 年 1 1 月 1 1 日



TOKYO 2025  
25TH SUMMER DEAFLYMPICS

誰もが個性を活かし、力を発揮できる共生社会の実現へ

校 長 堀 田 典 子

10月22日(水)に合唱コンクールを開催しました。当日は冷たい雨が降る中、保護者をはじめ、多くの皆様にご来場していただき、ありがとうございました。温かいご声援を力に子ども達も一生懸命に歌い、どのクラスも今までで一番の素晴らしい発表ができました。行事を通じて、上級生が1年生に練習風景を見せたり、歌を聴かせたりといった交流もありました。このような上級生が模範となって下級生を引っ張っていく取り組みは、多摩辺中の良き伝統として次年度に引継ぎ、さらに仲間と共に一つのことを成し遂げる体験が、集団としてさらに大きく成長していくことを期待します。

さて、今月15日(土)から東京でデフリンピックが開催されます。「デフリンピック」は、「Deaf(耳が聞こえない)」と「オリンピック」を組み合わせた言葉で、聴覚に障がいのあるアスリートのための国際スポーツ大会です。1924年にフランス・パリで第1回が開催され、2025年の東京大会はちょうど100周年の記念大会となります。



この大会では、選手たちは補聴器などを外した状態で競技に臨み、競技ルールは、オリンピックに準じています。聞こえない、聞こえにくい選手にとってスタートの音や審判の合図が聞こえない状況におかれているので、競技に必要な音声情報は、光の点滅や旗など視覚的な合図で行い、必要なコミュニケーションは国際手話を使って会話をしています。

東京2025デフリンピックのテーマは、「誰もが個性を活かし、力を発揮できる共生社会の実現」です。音がなくても、心は通じ合える。そんな感動が、東京で生まれようとしています。21日(金)には、8組の生徒がバスケットボール競技の応援に行きます。ぜひ、みなさんもこの大会に注目し、応援の気持ちを届けましょう!